

## おわりに

葉山町ではこれまでも様々な行政計画がつくられ、それに基づいた事業が展開されてまいりました。このたびの葉山町教育総合プランの策定にあたりましては、今までの諸計画を生かしつつ、将来の夢を語りながら、学習者が『学ぶ大切さ、学べる喜び、共に学びあう楽しさ』を実感できる、葉山らしい教育環境の充実を目指した計画にするため、策定委員会において多様な観点から協議を深めていただきました。

この教育総合プランには「葉山だからできる豊かな学びに向かって」という副題がつけられています。葉山は海・山・川・棚田等の豊かな自然環境に恵まれた町です。また、文化・芸術をはじめ多彩な分野で優れた人材が多いこと、そして、子どもたちの教育のためには労をいとわず支えてくださる方々がたくさんおられること、これらが「葉山らしさ・葉山の良さ」と言えます。「葉山だからできる豊かな学び」とは、このような自然環境を生かし、地域の方々との協働によって『21世紀の葉山町にふさわしい学習社会』の実現を目指すものです。その、実現を目指す教育活動の在り方や方向性・教育施設等について具体的にお示ししたのが「第3章 学習を支援するアクション・アイテム」です。

今後、葉山町としての長期的展望に立って、全てのアクション・アイテムが速やかに実施されることが望まれますが、なかでも次のことに重点をおいて検討してまいります。

少子化・核家族化・都市化が進むなかで、子育てについての教育ニーズが高まっており、育児不安を解消できる早期からの教育システムの確立を急いで行うこと。

豊かな創造性や社会規範の礎を育むうえで重要な幼児期の体験活動を充実させること。これからの社会変化に対応できる「確かな学力」と「優れた創造力」を子どもたち一人ひとりが身につけられるようにすること。そのための人的・物的学習環境の充実を図ること。

健康な体づくりのためのしくみを検討すること。特に、総合スポーツ施設については早期の検討委員会設立が必要である。

既存の学校施設を子どもたちの生活空間としてふさわしいものとするための計画的な改修や、長期的な実現をめざして新たな学校建築についての研究を開始すること。

学習情報の共有化を推進するための高度通信技術の活用システムを整備すること。

『教養』を尊ぶ文化風土を育むためにも、大学生や若手芸術家などと学校との連携を促進すること。

教育総合プランの具現化に向け、平成18年度には「葉山町教育総合プラン推進懇談会」を設置し、優先すべき課題等についてご協議いただくなかで実施計画をまとめました。既に実施している事業もアクション・アイテム全体の6割近くを数えていますが、今後とも引き続き、これまでの実績に評価・検討を加えながら、年度ごとの新規事業・重点事業を設定し、順次推進してまいります。

最後になりましたが、策定にあたり、調査に協力していただきました多くの町民の方々、夢のある教育についてともに考えていただきました教育関係者各位、そして精力的に協議を進めていただきました策定委員の皆様へ深く感謝を申し上げます。